

鳥獣被害対策における支援組織の育成・提言・ネットワーク化

活動地域  日本全国



課題

- ① 獣害対策の担い手育成 (けものまち医者の育成)
- ② 農村集落における過疎高齢化して年々厳しくなる獣害対策の体制
- ③ 地域における「けものまち医者」の地位確立

目標

- けものまち医者が認知され、地域に根付く
- 狩猟を通じた都市農村交流のモデル完成と普及
- 手引きや獣害対策白書を活用した行政と市民への理解が広がる



今後の展望

新型コロナウイルス禍における獣害対策支援として地元の担い手育成を遠隔で行い、フォローしていく体制を整えたい。けもの検定における信用度を高め、けもの塾オンラインを受講する参加者を増やしていきたい。

ひろげる助成

2年目

実践

活動内容と成果

計画当初から新型コロナウイルス感染症の感染拡大によるオンライン化を余儀なくされたが、すべてのプログラムをオンライン開催に切り替えることにより、実施できた。しかし、音声トラブルや司会進行の難しさなど課題も残り、次年度以降も運営スキルを高めていく必要がある。

けもの塾は当初からオンライン化を計画していたため、予定通り作成することができたが、講師陣のスケジュール調整に難航したため、公開が年度末になってしまった。次年度は、作成した講座をしっかりとPRして、けものまち医者を増やしていきたい。



けものJOB活参加者 **120人**

野生動物対策技術研究会参加者 **118人**

今年度計画の達成度 **60%**

目標達成度 **60%**

苦勞した点と工夫した点

■ 苦勞した点

獣害に困っている高齢化集落において、対面での支援ができず、チラシなど配布物のみの対応になったこと。

■ 工夫した点

新型コロナウイルス禍において、担い手育成のプログラムをすべて対面ではなくオンラインに切り替えたこと。

〒501-4601
岐阜県郡上市大和町大間見
307番地
電話：050-5276-2555
E-mail：kouzen@metamori.org
HP：http://furusato-kemono.net/

